

② 令和3年度鹿児島県総合体育センター事業等

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の支援
 - (1) 普及・奨励
 - ア 普及・奨励事業の充実及びモデル事業の実施
 - (ア) スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」
 - a 春「ふれあいプラザ」

目 的	(1) 「こどもの日」にちなみ、幼児、児童生徒とその家族などにスポーツ活動の場として県総合体育センターの各運動施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動、ニュースポーツ等の体験や交流を行える場を提供することにより、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めるとともに、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進に役立てる。 (2) スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、市町村等で開催されるイベント等のモデル事業として実施する。		
期日・会場	令和3年5月1日(土) 県総合体育センター各運動施設	参加者数	約1,300人
対 象	幼児、児童生徒とその家族など		
成果・課題	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、白波スタジアムをメイン会場としてニュースポーツ種目をはじめ、各種交歓大会を実施することができた。 参加者の安心・安全を最優先に、県民へのスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興につなげられるように努める。		
令和4年度の予定	令和4年4月29日(金) 県総合体育センター各運動施設		

《内 容》

1 プレイイベント

4月19日(金)に白波スタジアムで、学校法人丸岡学園やはいた幼稚園年長組24人に、こいのぼりの掲揚やNPO法人SCCによるかけっこ教室に参加していただきました。



【園児からのこいのぼり贈呈】



【かけっこ教室】

2 当日の様子



【カヌー体験教室】



【クライミング体験教室】



【ニュースポーツ体験：ラダーゲッター】



【ちびっこサッカー交歓大会】



【高校生テニス交歓大会】



【中学生軟式野球交歓大会】

b 秋「スポーツプラザ」

目 的	(1) 「スポーツの日」にちなみ、幼児、児童生徒とその家族などにスポーツ活動の場として県総合体育センター各運動施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動、ニュースポーツ等の体験や交流を行える場を提供することにより、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めるとともに、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進に役立てる。 (2) スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、市町村等で開催されるイベント等のモデル事業として実施する。		
期日・会場	令和3年10月10日(日) 県総合体育センター各運動施設	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	
対 象	幼児から高齢者までどなたでも		
令和4年度 の予 定	令和4年10月9日(日) 県総合体育センター各運動施設		

c 元旦「太陽とともに走ろう」

目 的	初日のもと、走り初めの機会を提供することで、新年における健康づくりや運動実践への意欲を喚起し、県民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむことを目指した「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進を図る。		
期日・会場	令和4年1月1日(土) 白波スタジアム(県立鴨池陸上競技場)	参加者数	1,031人
対 象	幼児から高齢者までどなたでも		
成果・課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上での開催であったが、約1,000人の県民の皆様が参加し、新年における健康づくりや運動実践への意欲を喚起することができた。 感染症拡大防止対策や広報の仕方について改善していく必要がある。		
令和4年度 の予 定	令和5年1月1日(日) 白波スタジアム(県立鴨池陸上競技場)		

《内 容》

1 開会行事

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全に行った上で実施しました。ゲストランナーに鶴田玲美選手(東京オリンピック陸上女子400mリレー日本代表)を招き、東條教育長の号砲によりスタートしました。また、本県にゆかりのあるオリンピック、アスリート、俳優等によるビデオメッセージを、大型ビジョンにて放映しました。



【開会のあいさつ】



【ゲストランナー紹介】



【ビデオメッセージ放映】



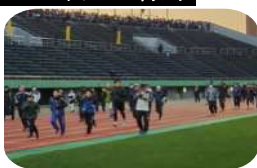
【スタート合図】

【ビデオメッセージ出演者】※敬称略

- ・濱田尚里(東京オリンピック柔道金メダリスト)
- ・岡澤セオン(世界選手権金メダリスト)
- ・迫田さおり(ロンドンオリンピック銀メダリスト)
- ・新鍋理沙(ロンドンオリンピック銀メダリスト)

- ・上白石萌音(本県出身俳優)
- ・卓球競技 国体強化指導員(及川, 町, 加藤)
- ・バスケットボール競技 国体強化指導員(シュッハ, 川上)
- ・テニス競技 国体強化指導員(清水)

2 当日の様子



【ジョギング・ウォーキング】



【大型ビジョンに写した初日】



【国体PR】

(イ) 暑中げいこ・寒げいこ

目的	柔道，剣道及び弓道における礼法や基本動作・練習法等を身に付けるとともに，暑さ・寒さに負けない強い意志と身体の育成を図る。あわせて，競技力の向上と生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する。													
期日・会場	○ 暑中げいこ (弓道) 令和3年8月4日(水)・5日(木) (柔道) 令和3年8月24日(火)・25日(水) (剣道) 令和3年8月24日(火)	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止												
	○ 寒げいこ (弓道・剣道) 令和3年12月26日(日)27日(月) (柔道) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			参加者数 (延べ人数)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>参加校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弓道</td> <td>52人</td> <td>14校</td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>215人</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>267人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		人数	参加校	弓道	52人	14校	剣道	215人	11校
	人数	参加校												
弓道	52人	14校												
剣道	215人	11校												
合計	267人	—												
対象	○ 暑中げいこ 柔道，剣道：中学1，2年生 弓道：中学2年生 ○ 寒げいこ 柔道，剣道，弓道：中学1・2年生													
成果・課題	他校との交流や各競技団体から推薦された指導者による専門的な指導で，充実した稽古ができた。 今後も各競技連盟と連携し，参加者の安全を第一に考え，一人当たりの練習時間が確保できるような指導計画の工夫や調整に努める。													
令和4年度の予定	○ 暑中げいこ (弓道) 令和4年8月4日(木)・5日(金) (柔道) 令和4年8月22日(月)・23日(火) (剣道) 令和4年8月22日(月)・23日(火) 県総合体育センター武道館・体育館													
	○ 寒げいこ 令和4年12月26日(月)・27日(火) 県総合体育センター武道館・体育館													

《 内 容 》

※ 《内容》の吹き出しは，参加者の感想(寒げいこ)



【弓道 (一手行射)】

本センターが開所(昭和49年)以来開催している「寒げいこ」に，各競技連盟が推薦した指導者(弓道7人，剣道5人)が，2日間，礼法，基本動作，基本練習等を中心に指導を行いました。



【剣道 (素振り)】

基本の動作を一から教えてもらうとても貴重な体験でした。先生方は優しく，説明がわかりやすかったです。習った「真善美」の言葉は，とても素敵な言葉だと思いました。学んだことを他の部員に伝え，「正しい」弓道を理解するようにしたいです。

新しい素振りの仕方を教わりました。一本一本の動きを大切に細かく意識することを学びました。他の中学生と剣を交えることができ，心が交わり剣道を楽しむことができました。基本を正確に身に付け，日々の稽古を通し，心身を鍛えていきたいです。

(ウ) 地方青少年武道錬成大会

目 的	武道に対する正しい理解を深めさせるとともに、実技を通して心身の錬磨、技能の向上及び相互の親睦を図り、心身ともに活力に満ちた健全な青少年の育成に役立つ。		
期日・会場	○ 相 撲 令和3年11月20日(土)・21日(日) 出水市高尾野相撲場(出水市)	参加者数	27人
	○ なぎなた 令和3年12月18日(土)・19日(日) 霧島市国分体育館(霧島市)		32人
対 象	武道を志す小・中・高校生		
成果・課題	関係武道競技団体及び関係市教育委員会との連携が図られ、中央講師、地元講師の指導のもと、充実した錬成大会が行えた。 未実施市町村教育委員会、競技団体に対して、事業の啓発を継続して行う。		
令和4年度の予定	○ 空 手 令和4年7月16日(土)・17日(日) 末吉総合体育館(曾於市)		
	○ 銃 剣 道 令和4年12月3日(土)・4日(日) 霧島市国分武道館(霧島市)		

《内 容》

1 相撲錬成大会



【講 話】
「楽しく学ぶ相撲」

相撲の歴史と技を習いました。そして、技だけではなく、心・体も成長させることも大切だと分かりました。



【実技指導】

※《内容》の吹き出しは、参加者の感想

公益財団法人日本武道館から派遣された中央講師2人と本県各武道連盟から派遣された地元講師2人が、2日間の錬成大会の指導を行いました。
中央講師：南 博 六段 中元 優 六段
地元講師：濱 清吾 六段 慶 忠相 初段

初めて戦う人と取組ができたので、「こんな相手がいるんだな。こんな相手にはこうしよう。」などの対策ができて良かったです。

2 なぎなた錬成大会

中央講師：廣瀬 幸子 教士 梅原 敬子 錬士
地元講師：畠中 良枝 四段 新坂 知加子 四段



【実技指導】

実技だけではなく、周りの人への感謝や、友達やチームとの交流、仲間の大切さや礼儀の大切を改めて考えることができたので、これからの生活に生かしていけるような人間になりたいです。



【実技指導】



【基本動作】



【対人技能】

なぎなたの技を磨くとともに、相手を尊重し、多くの人に感謝すること、あいさつができることを心掛け、応援される人になりたいです。

イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室

目 的	運動をする機会が少ない女性を対象にしたスポーツ・レクリエーション教室をコミュニティスポーツクラブを中心として実施し、健康づくりや仲間づくりを通して運動に親しむ機会を充実させ、継続したスポーツ活動を推進する。		
期 日・会 場	期日：令和3年10月30日（土） 11月6日（土） 12月4日（土） 令和4年1月8日（土） 全4回 会場：志布志運動公園武道館	参加者数 (延べ人数)	80人
対 象	女性		
成 果・課 題	気軽に参加できる運動プログラムを構成したことや主管クラブがSNS等を活用して広報したことにより、運動に親しむ機会を多くの方に提供できた。今後も主管クラブとの連携を密にし、女性のスポーツ実施率の向上を図るための充実した運動プログラムの提供に努める。		
令和4年度 の 予 定	実施予定（詳細は後日決定）		

《内 容》

※吹き出しは運営者、指導者、参加者の感想です。

1 主管

レインボー424スポーツクラブ（志布志市）

2 指導者

金子 真弓, 益田 裕子, 肝付 りか

3 内容

ヨガ, ピラティス



スポーツに参加するきっかけづくりができ、また、クラブにとっても広報の仕方や今後の活動につながる、大変よい機会をいただきました。参加者からも好評だったので、新年度からヨガ及びピラティスの体験教室を計画しています。（運営者）



【第1回ヨガ教室】

初めて体験される方もいらっしゃったので、一つ一つの動作を見せてから実施してもらうようにしました。子育て世代の方々の参加が多く、様々な意見を聴くことができました。（指導者）



【第2回ヨガ教室】

普段体を動かす時間があまりないので、このような時間が取れてよかったです。（参加者）



【第3回, 第4回ピラティス教室】

自宅でストレッチやヨガの動画を見ながら運動していますが、子供の面倒などで集中できず続けることがなかなか難しかったです。この教室のおかげで集中して取り組めたので良かったです。（参加者）

ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室

<p>目 的</p>	<p>(1) 障害のある方々のために、運動を楽しむ機会を提供し、障害者のスポーツ・レクリエーション活動の継続した普及・振興を図る。 (2) 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）（以下「コムスポ」という。）を主管としたスポーツ・レクリエーション教室を開催することにより、コムスポに事業の計画立案や運営等のノウハウについての助言や支援を行う。</p>		
<p>期日・会場</p>	<p>令和3年12月4日（土）奄美少年自然の家 令和4年1月15日（土）名瀬総合体育館 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	<p>参加者数 (延べ人数)</p>	<p>19人</p>
<p>対 象</p>	<p>放課後等デイサービスの利用者，大島養護学校の児童生徒，特別支援学級に通う児童生徒等</p>		
<p>成果・課題</p>	<p>限られた時間のなかで会場内を自由に動き回り，楽しく参加する様子も多く見られた。障害のある子供たちにスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供できた。また，主管コムスポによる主体的な運営が図られた。 主管コムスポと十分な情報共有を図り，日程又は実施回数の変更を柔軟に行う必要がある。</p>		
<p>令和4年度の予定</p>	<p>実施予定（詳細は後日決定）</p>		

《内 容》

1 主管

NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー

2 期日・種目・指導者

期 日	実施種目	指導者
12月4日(土)	ボッチャ ディスクゲッター フライングディスク	NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー

3 教室の様子



【ボッチャ】



【ディスクゲッター】



【フライングディスク】



【ボッチャ】



【ボッチャ】



エ スポーツ・レクリエーション体験教室「体育センターがやってきた！」

目的	「運動をする子供とそうでない子供」の二極化傾向が見られることに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子供たちが運動に親しむ機会が制限されている状況が見られる。そこで、本センター職員が直接学校を訪問し、スポーツ・レクリエーション活動を通して学校に「スポーツに親しむことの楽しさ」を提供するとともにスポーツ・レクリエーション活動の振興を深める。		
期日・会場	<p>令和3年11月2日(火) 始良市立錦江小学校 3年生 垂水市立水之上小学校 4～6年生</p> <p>令和3年11月9日(火) 曾於市立大隅北小学校 1～6年生 始良市立建昌小学校 6年生</p> <p>令和3年12月10日(金) 南九州市立松ヶ浦小学校 1～6年生 南さつま市立益山小学校 5,6年生</p> <p>令和3年12月22日(水) 湧水町立上場小学校 1～6年生 湧水町立吉松小学校 5,6年生</p> <p>令和4年3月23日(水) 阿久根市立田代小学校 2,4,5,6年生</p> <p>以下の学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>令和4年1月12日(水) 日置市立鶴丸小学校 5,6年生 令和4年1月14日(金) 霧島市立上小川小学校 4,6年生 令和4年1月20日(木) 鹿児島市立伊敷小学校 1年生 鹿児島市立牟礼岡小学校 1,2年生</p> <p>令和4年2月8日(火) 南大隅町立佐多小学校 1～6年生 南大隅町立神山小学校 6年生 令和4年2月15日(火) 鹿児島市立松元小学校 3,4年生</p>	参加者数	281人
成果・課題	<p>体育の授業では行わないニュースポーツを中心に体験させることで、運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童が楽しく活動する機会を提供できた。</p> <p>今回の内容、運営を振り返り、実施内容や広報、開催時期、実施校の選定等を改善していく。</p>		
令和4年度の予定	<p>「職員派遣事業」として継続的に実施。(6月～2月実施予定)</p> <p>実施校は、事前申込みにより本センターが選定する。(15校程度)</p>		

《内 容》

- 活動内容 (90分)
- 1 開会行事 (職員紹介等)
 - 2 準備運動
 - 3 ニュースポーツや障害者スポーツ等の体験 (75分)
 - ・ ディスゲッター
 - ・ バグゴ
 - ・ わなげ9&Q
 - ・ ボッチャ
 - ・ ラダーゲッター
 - 4 閉会行事 (児童の感想等)

※ 《内容》の吹き出しは、参加者の感想



【ディスゲッター】



【バグゴ】



【わなげ9&Q】



【ボッチャ】



【ラダーゲッター】

私は運動が苦手です。「どうしよう、できるかな」と不安でした。やってみると思っていたよりとっても楽しく、「運動って楽しいんだ」と気付かされました。

「わあ！面白そう！」体育館に入ったときに思いました。終わった後、また、やりたいと思いました。改めてスポーツって楽しいなと思えました。

運動が苦手な子供たちも笑顔でニュースポーツを体験している姿を見て、本当に充実した時間になったのだと思えました。(職員)

オ 市町村等のスポーツ・レクリエーション活動への支援

(7) 指導者派遣・広報

市町村等からの依頼要請に応じて、スポーツ・レクリエーション活動に関する事業等の指導者派遣・広報を行う。

(4) スポーツ・レクリエーション用具の貸出し

目 的	生涯スポーツの推進のため、県民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるように、各種団体等にスポーツ・レクリエーション用具の貸出しを行う。
対 象	公益性のある団体・事業

《 内 容 》

1 貸出・返却の流れ

- (1) 貸出用具については、県総合体育センターのホームページに掲載されている「※スポーツ・レクリエーション貸出用具一覧表」を参照するか、事前に県総合体育センター指導課振興係に電話(099-255-0146)で問い合わせる。
- (2) 県総合体育センターで所定の手続きを行う。(印鑑が必要)。
- (3) 借用期間は、原則2週間以内。
- (4) 期限までに、借用物品及び数量を確認して返却する。
 ※ 鹿児島県>一般・県民の方々>教育・文化・交流>教育委員会について>教育機関等>鹿児島県総合体育センター>スポーツ・レクリエーション用具の貸出>スポーツ・レクリエーション用具貸出のご案内

2 貸出用具とゲームの行い方 (貸出件数の多いもの)

・ ボッチャ

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



・ スカットボール

ゲートボールと同様のスティックを使って、的となる台の穴にボールを入れるスポーツです。ボールをスタートラインからスティックで打って、高得点を狙いますが、穴の特殊なカーブがハラハラドキドキのゲームを演出します。



・ バグゴ

2つのボードを向かい合わせに置き、2チームに分かれてビーンバッグを投げ、得点を競います。ボードに乗れば1点、穴に入った場合は3点、ボードに乗ったバッグに当てて穴に入れると、6点。激しい動きがなくルールも簡単な上、アウトドア、インドアどちらでも楽しめます。



・ ディスゲッター

9枚のパネルセットのターゲットを使ってスコアゲームをします。小さい子供から大人までが夢中になれるターゲットゲームです。1人で投げて何枚抜けるか、2人で投げていき、どちらが多くパネルを抜けるかなど、遊び場はその場で作れます。



・ わなげ9&Q

輪は片手であれば、どんな持ち方をしてもおかまいません。シングルスは、連続して9本を投輪します。ダブルスの場合、同じチームの2人が交互に投げるルールです。的棒に記入してある数字が得点になり、投げ輪を9個全部投げ終わった時に、棒に入っている輪の点数の合計が得点になります。広い場所を必要とせずどこでも楽しめる上ルールも簡単です。作戦を立てながら行えば、奥深い楽しみがあり、子供から高齢者まで、気軽に楽しむことができます。



(2) 指導者の養成と資質向上

ア スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成講習会

目 的	スポーツ・レクリエーション活動を通して、県民の健康増進や地域づくりを促進するため、スポーツ・レクリエーション活動指導者の養成やコミュニティスポーツクラブの運営、スポーツイベント等を開催することができるスポーツ・レクリエーション活動リーダーを養成する。		
期 日・会 場	令和3年7月10日（土）・11日（日） 県体協会館会議室	参加者数	18人
対 象	各市町村及び各市町村教育委員会社会体育担当者、スポーツ推進委員、社会体育有志指導者、教職員、コミュニティスポーツクラブマネージャー及び関係者等		
成果・課題	スポーツ・レクリエーション活動指導者として必要な知識や技能について、大学教授等の講師による講義を通して身に付けることができた。 参加者の安心・安全を最優先に、スポーツ・レクリエーション活動指導者の資質向上を目指した内容やプログラム、日程を工夫するように努める。		
令和4年度の予定	令和4年6月25日（土）・26日（日） 県体協会館会議室		

《内 容》

講習会の様子

※ 《内容》の吹き出しは、参加者の感想



【ジュニア期のスポーツ】
県総合体育センター 振興係長
寺原 和照



【文化としてのスポーツ】
県スポーツ協会 クラブアドバイザー
永田 智和



【指導計画と安全管理】
県総合体育センター 体育研修主事
河野 新二



【指導者の役割Ⅰ】
鹿児島大学 助教授
高橋 恭平



【地域におけるスポーツ振興】
鹿屋体育大学 教授
北村 尚浩



【トレーニング論Ⅰ】
鹿児島大学 客員研究員
丸山 敦夫



【スポーツと栄養】
みつお産婦人科 管理栄養士
横山 笑子



【スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ】
いまきいれ総合病院 スポーツドクター
大瀬 克広

一流のオリンピック選手の指導者をはじめ、各講師の先生方からの専門性の高い、最先端の情報を学ぶことができました。全ての講義がとても有意義で実り多い研修でした。

イ 公認アシスタントマネジャー養成講習会

目 的	総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）などにおいて、クラブ会員や県民が充実した健康・体力づくりや地域づくりができるようにクラブマネジャーを補佐するとともに、クラブマネジメントの諸活動をサポートすることができる公認アシスタントマネジャーの資格取得を目指す人材を養成することを目的とする。	
期日・会場	令和3年9月4日（土）・5日（日）	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ○ 18歳以上（令和3年4月1日現在）の次に該当する者 ○ 市町村の社会体育担当者，スポーツ推進委員，社会体育有志指導者，教職員，総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）で活動している者又は活動を希望する者 	
令和4年度の 予 定	令和4年8月6日（土）・7日（日） 県体協会館会議室（県総合体育センター武道館）	

ウ 柔道指導者講習会

目 的	県内の中学校・高等学校における教科体育，部活動及びスポーツ少年団等の柔道指導者の指導力を高め，本県柔道競技の競技力向上を図る。	
期日・会場	令和3年5月20日（木）・21日（金） 西原商会アリーナ（鹿児島アリーナ）	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
対 象	県内の中学校・高等学校保健体育担当教員，柔道部活動指導者及びスポーツ少年団等の柔道指導者	
令和4年度の 予 定	令和4年5月23日（月）・24日（火） 西原商会アリーナ（鹿児島アリーナ）	

エ 地域社会武道指導者研修会

目 的	スポーツ少年団，中・高等学校及び地域や職場における少林寺拳法指導者の技能の向上を図るとともに，指導力を高め，本県少林寺拳法競技の普及振興と競技力の向上に役立てる。	
期 日・会 場	少林寺拳法 令和3年8月28日（土）・8月29日（日） 県総合体育センター武道館柔道場	新型コロナウイルス 感染症拡大防止 のため中止
対 象	スポーツ少年団，中・高等学校及び地域や職場における少林寺拳法指導者等	
令和4年度の 予 定	剣道 令和4年9月3日（土）・4日（日） 県総合体育センター体育館 なぎなた 令和4年12月17日（土）・18日（日） 南九州市知覧体育館	

オ アウトドア活動指導者育成講習会

目 的	アウトドア活動に対する総合的な知識をもった地域指導者の養成を図るとともに、県民の生涯スポーツ推進の一環として、アウトドア活動の普及・振興を図る。		
期 日・会 場	令和3年6月19日（土） 令和3年7月3日（土）・4日（日） 県立霧島自然ふれあいセンター	参加者数	33人
対 象	教職員、公認スポーツ指導者、社会体育有志指導者、市町村教育委員会職員、青少年教育施設等職員、青少年団体等指導者、コミュニティスポーツクラブ関係者、アウトドア活動に興味のある満18歳以上の方等		
成果・課題	アウトドア活動に必要な知識や技術を講義や実習を通じて身に付けることができた。 数多くの参加者を募るため、広報・開催時期等を改善していく。		
令和4年度の予定	令和4年6月18日（土） 令和4年7月2日（土）・3日（日） 県立南薩少年自然の家		

《内 容》

※《内容》の吹き出しは、参加者の感想

1 講義

キャンプに関する基本的な知識や野外ゲームのプランニングについて学びました。



【講義】

2 実技

アイスブレイキング、食材獲得ゲーム、野外炊事、屋台制作、料理コンテスト等の活動を体験しました。



【アイスブレイク】



【食材獲得ゲーム】



【野外炊事の基礎】



【料理コンテスト】



【ゲームプランニング実地調査】



【野外炊事】



【屋台制作】



【全体写真】

年齢の異なる人たちと同じ目標に向け協力したり、意見を出し合ったりすることが初めてで、とても良い体験ができました。

「場を和ます」「コミュニケーションでチームワークを高める」言葉が無くても、今自分がやるべき役割を果たすところまで仲間の力を感じました。

3 研究協議

これからのアウトドア活動指導者に必要な資質や求められる能力について研究協議を行いました。

日頃しているキャンプでは知り得ないことや考えないことなどが学べ、指導者としての責任の重要点を知ることができました。



【研究討議】

(3) 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ 以下：コムスポ）の育成支援

ア 活動状況調査
(7) 設立支援状況調査

目 的	コムスポの設立準備状況について確認し、今後の方向性について意見交換を行う。また、各市町村における生涯スポーツの取組について、情報交換を行う。
対 象	現在設立準備中となっている市町村の関係団体(教育委員会や設立母体等)
成果・課題	新型コロナウイルスの影響を考慮して訪問を控えたが、設立を希望している団体関係者及び行政担当者との面談することができた。今回得られた情報を整理し、設立に向けた具体的な取組ができるよう関係者と連携していく必要がある。
令和4年度の予 定	関係市町村の団体（教育委員会や設立母体等）と早めに日程調整を行い、計画的に訪問できるように努める。また、活動状況が停滞していたり、細かい指導を求められたりした場合も柔軟に対応していく。

※ 調査実績

令和3年12月3日（金）	奄美市教育委員会スポーツ推進課	奄美市
12月4日（土）	NPO法人健康ど宝	奄美市

(4) 運営状況調査

目 的	コムスポの運営状況を把握し、地域における生涯スポーツの推進について、情報交換を行う。
対 象	これまでの運営状況調査の実施状況や広域スポーツセンター研修会への出席状況などを踏まえ、状況調査が必要と判断されるクラブを訪問する。
成果・課題	本年度開始した「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」のクラブとしての活用方法や「地域部活動」の今後の展望等について意見交換を行うことができた。 面談を通して分かった課題を整理し、持続可能なクラブ運営ができるよう、市町村行政と連携した対応が必要である。
令和4年度の予 定	調査を実施するクラブについて、関係市町村及びコムスポと日程調整を行い、実施する。

※ 調査実績

令和3年10月11日（月）	カラフルスポーツクラブ	鹿児島市
10月12日（火）	NPO法人SCC	鹿児島市
10月13日（水） 12月2日（木）	一般社団法人鹿児島県スポーツ振興センター	鹿児島市
10月15日（金）	NPO法人SEED 鹿児島パラアスリートクラブ	鹿児島市
12月3日（金）	NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー	奄美市

イ 情報提供・相談

情報提供	○ 国や県の総合型地域スポーツクラブに関する情報の提供を行う。 ○ 広域スポーツセンター研修会の内容について、県総合体育センターのホームページに掲載をする。
相談内容	コムスポの設立に関する相談や補助金の手続きに関する相談、県民からのスポーツ・レクリエーション活動に関する環境や指導者等に関する問合せに対応する。

※ 詳細は、県総合体育センターホームページを参照
目的別情報＞広域スポーツセンター

www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html



【HPQRコード】

【コムスポの設立状況】



ウ 育成支援

(7) 広域スポーツセンター研修会

目 的	(1) 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ 以下「コミスポ」という。）の自立支援のために、スポーツクラブ運営に携わる人材育成を図る。 (2) 地域スポーツ振興のために、各市町村の生涯スポーツ担当者やコミスポ関係者が一堂に会し、当面する課題や今後の取組などについて認識を深め、課題解決を図る。		
期日・会場	○ 第1回 令和3年11月16日(火)：かごしま県民交流センター ○ 第2回 令和4年1月26日(水)：かごしま県民交流センター ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	参加者数	83人 —
成果・課題	「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」や「休日の部活動の段階的な地域移行」等についての説明を行い、理解を図ることに努めることができ、また、生涯スポーツの振興と今後の課題について協議を行うことができた。 今後も行政・コミスポそれぞれが抱える課題解決に繋がる研修内容を実施していく。		
令和4年度の予定	○ 第1回 令和4年6月2日(木)：白波スタジアム第1会議室 ○ 第2回 令和5年2月3日(金)：未定		

《内 容》

第1回広域スポーツセンター研修会

※ 《内容》の吹き出しは、参加者の感想

1 説明

「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」について
 鹿児島県総合体育センター指導課振興係
 今井 新 体育研修主事



2 説明

「休日の部活動の段階的な地域移行」について
 鹿児島県教育庁保健体育課学校体育安全係
 池亀 麗也 指導主事



3 説明

「幼児期からの運動習慣プロジェクト」について
 鹿児島県教育庁保健体育課スポーツ振興係
 山元 尚史 係長



4 グループ協議

「行政担当者とコミスポ関係者による地域スポーツ振興施策に関する意見交換」



「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ」に認定されると意識も高くなり、よりよいクラブづくりにつながるのではないかと説明を聞いて感じました。

行政の担当の方々と交流・意見交換ができてよかったです。今後もこのような機会があればよいと思います。

各市町村の課題、取組を知るよい機会となりました。挙げられた課題やその対策を持ち帰り、共有していきたいと思っています。

(イ) コミスポ育成のための事業

a 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室

※ 詳細については、P 6 「イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室」参照

b わくわくスポーツレクリエーション教室

※ 詳細については、P 7 「ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室」参照

(ウ) 鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度

令和3年度から、「第2期スポーツ基本計画（スポーツ庁：平成29年）」で示された「総合型地域スポーツクラブの質的充実」を具現化するため、「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」を開始しました。

制度導入の目的、期待できることは以下のとおりです。

a 導入の目的

コミスポの運営方法や組織体制の改善、強化を図るとともに、県・市町村行政・コミスポの三者相互の連携充実を図ることにより、県民の生涯スポーツ振興の寄与につなげることを目的とします。

b 期待できること

市町村行政機関等に対しコミスポの意義・役割等の認識と信頼度を高めることにより、コミスポは以下の点等について期待できます。

- ・ 市町村行政所有の運動施設使用の減免、優先予約
- ・ 市町村行政所有の用具・備品の優先貸出し
- ・ 市町村行政主催イベントの運営委託又は指導者派遣
- ・ 「地域部活動の運営団体」としての指導者派遣
- ・ クラブ主催イベントに対する市町村行政の後援承認
- ・ 地域住民への認知度、信頼度の向上
- ・ 会員及び指導者の増加 など

認定クラブには、「認定証」を授与します。今後、本制度及び認定クラブを市町村行政機関だけではなく、県内各学校にも周知し、「住民の、住民による、住民のためのスポーツクラブ」であるコミスポへの理解、認知度の向上に努めてまいります。

(イ) 認知度向上推進事業

a 社会体育関係団体等への広報

広域スポーツセンター研修会等を通じて、コミスポの説明・広報を行いました。

b 広報誌の発行

広域スポーツセンター事業をホームページで紹介したり、各コミスポの事業を広報誌で紹介したりしました。

※ 詳細については、P 13 「イ 情報提供、相談」参照

c スポーツ・レクリエーションフェスティバルでのコミスポと連携した取組

コミスポによるスポーツ教室を実施しました。協力していただいたクラブ及び内容は次のとおりです。

・ 「春ふれあいプラザ～」

○ NPO法人SCC [プレイベント・かけっこ教室]

○ 鹿児島パラアスリートクラブ [障害者スポーツ] ※雨天のため中止

d ホームページの工夫

クラブの資料掲載やコミスポ設置状況について、更新しました。

認定証

〇〇〇〇クラブ 殿

鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ
として認定したことを証します
期間は令和4年7月31日までとします



令和3年 月 日

鹿児島県広域スポーツセンター
所長 山口 良人

【認定クラブ「認定証」】

(4) 情報提供、相談体制及び調査研究の充実
 ア 県民のニーズに即応した情報の提供
 (7) スポーツ情報交換会

目的	体育・スポーツ及びレクリエーションに携わる関係機関・団体と報道機関の関係者が一堂に会し、体育・スポーツ及びレクリエーションに関する情報交換を行い、相互の連携を深め、広く県民によりよい情報を提供することで、本県の体育・スポーツ及びレクリエーションの振興と充実を図る。	
期日・会場	令和3年4月23日（金）白波スタジアム第1会議室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
対象	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関（15社） MBC南日本放送, KTS鹿児島テレビ, NHK鹿児島放送局, KKB鹿児島放送, KYT鹿児島読売テレビ, エフエム鹿児島, 南日本新聞社, 共同通信社, 毎日新聞社, 読売新聞社, 朝日新聞社, 西日本新聞社, 時事通信社, 南海日日新聞社, 日本経済新聞社 ○ 関係機関（16団体） 県文化スポーツ局スポーツ振興課, 県障害福祉課, 県教育庁保健体育課, 県国体・全国障害者スポーツ大会局（総務企画課, 全国障害者スポーツ大会課, 競技式典課, 競技力向上対策課）, 公益財団法人県スポーツ協会, 鹿児島市観光交流局観光交流部スポーツ課, 公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会, 県小学校体育連盟, 県中学校体育連盟, 県高等学校体育連盟, 県専門学校体育連盟, 県高等学校野球連盟, 県レクリエーション協会, セイカユナイテッドグループ, 社会福祉法人県身体障害者福祉協会, 鹿児島県総合体育センター ※県コミュニティスポーツクラブ連絡協議会は、令和3年度解散。 	
令和4年度の予定	令和4年4月22日（金）白波スタジアム第1会議室	

(イ) 刊行物の作成・発行

a 総合体育センターだより 	目的	令和4年度に開催予定の事業の内容や日程等の情報を提供することにより、総合体育センター事業に対する県民の関心を高め、生涯スポーツの普及・促進の一助とする。
	送付等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年3月 ○ 発行部数：1,200部 ○ 関係機関, コミュニティスポーツクラブ, 関係競技団体ほか
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校体育の充実 ○ スポーツ・レクリエーション活動の充実, ニュースポーツ等道具の貸出し ○ コミュニティスポーツクラブの充実 ○ 情報・指導資料等の提供, 相談体制及び調査研究の充実
b 県民総スポーツすすむ 	目的	総合体育センターが実施するスポーツ・レクリエーション活動の支援や学校体育の充実に係る情報を提供することによって、県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興に寄与する。
	送付等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年3月 ○ 関係機関, コミュニティスポーツクラブ, 関係競技団体ほか
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の事業の内容や成果, 課題等 ○ 次年度の事業計画等
c 県公立武道館協議会会報 	目的	(公財)日本武道館との共催事業等の情報提供をすることにより、本県武道の普及振興を図るとともに各市町村教育委員会と各武道団体との連携促進の一助とする。
	送付等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年3月 ○ 発行部数：500部 ○ 県内各武道競技団体, 関係市及び各市町村教育委員会, 各スポーツ少年団(武道), 公益財団法人県スポーツ協会, 関係市町村武道競技団体, 県教育庁各課ほか
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会長あいさつ ○ 令和3年度事業報告 ○ 関連事業報告 ○ 令和4年度事業計画

(ウ) ホームページ・フェイスブックによる情報提供

内 容	<p>1 ホームページ</p> <p>1 お知らせ 年間事業計画等</p> <p>2 事業紹介 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の紹介</p> <p>3 事業結果 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の結果紹介（事業の様子、参加者の感想など）</p> <p>4 施設利用 県有体育施設の利用について</p> <p>5 資料等（発行物・調査結果） 県民総スポーツすすむ、総合体育センターだより等</p> <p>6 広域スポーツセンター 総合型スポーツクラブについて、広域スポーツセンター情報誌等</p> <p>7 スポーツ・レクリエーション用具の貸出し スポーツ・レクリエーション用具の貸出しの案内、貸出用具一覧等</p> <p>8 令和3年度クラブ診断シート 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）の円滑なクラブ運営に向けた診断シート</p> <p>2 フェイスブック</p> <p>1 事業紹介 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の紹介</p> <p>2 事業結果 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の結果紹介（事業の様子の写真や動画など）</p> <p>3 体づくり運動や研修会等の動画 ソーシャル・ディスタンスを保ちながら行える体づくり運動の動画や、研修会等の実技動画</p>
ホームページ アドレス	www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html
フェイスブック アドレス	https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima

イ スポーツ・レクリエーション相談体制の充実

目 的	県民のスポーツ・レクリエーション活動等に関する幅広い分野からの質問・相談に対して、専門的立場から回答することにより、県民の生涯スポーツ活動を支援する。
期 日 等	通年随時
対 象	県民
成果・課題	スポーツ・レクリエーション活動に関する施設や競技団体、指導者、イベントなどの情報を収集・整理することにより、随時県民の要望に応じた情報を提供することができた。
令和4年度 の予 定	各市町村、(公財)県スポーツ協会、競技団体、コミュニティスポーツクラブなどと連携を深め、更なる情報収集・提供に努める。

《内 容》

- 電話等による相談、問合せの主な内容
- 県総合体育センター各種事業等に関する事
 - 指導者の養成や派遣に関する事
 - 各種指導者資格に関する事
 - スポーツ・レクリエーション用具の貸出しに関する事
 - 行事・催物・各種大会に関する事
 - 記録や表彰に関する事
 - スポーツの団体やグループに関する事
 - その他